

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑩Int. Cl.⁵
A 45 C 13/10

識別記号
C

⑫⑬公告 平成5年(1993)9月17日

請求項の数 1 (全4頁)

④発明の名称 開口部の構造

⑪特 願 平2-299948

⑫公 開 平4-174606

⑫出 願 平2(1990)11月7日

⑬平4(1992)6月22日

⑭発明者 南 埃 良 平 東京都台東区駒形2丁目4番8号 モリト株式会社東京支
店舗
⑮出願人 モリト株式会社 大阪府大阪市中央区南本町4丁目2番4号
⑯出願人 カラーファスナー工業 神奈川県座間市相武台2丁目4866-1
株式会社
⑰代理人 弁理士 西村 教光
審査官 鈴木 法明

1

⑤特許請求の範囲

1 左右テープと、該左右テープの対向内縁部に互いに頭部を咬合状態としてスライダーにより咬合開離自在とされた左右務歯列とを有するスライドファスナーが取付けられる開口部の構造において、

可撓性を有し、かつ帯板状に形成された左右側板は、その断面形状が略S字形に折返し状に成形されて内方および外方の折返し溝部を形成し、該向合う内方の折返し溝部には前記左右テープの外縁部が押出し成形により圧着され、外方の折返し溝部は鞄などの開口縁部が挿入固定されることを特徴とする開口部の構造。

発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、スライドファスナーを用いて開閉自在とされる鞄などの開口部の構造に関するものである。

【従来の技術】

鞄などの開口部の開閉にはスライドファスナーが多く用いられている。

従来、前記スライドファスナーを前記鞄などの開口部に取付ける場合、スライドファスナーの左右テープの外縁部を鞄などの開口縁部の表面側に直接縫着していた。

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した従来の鞄などの開口部の構造には、下記のような問題がある。

すなわち、鞄などの開口縁部の表面側に直接前記スライドファスナーの左右テープの外縁部が縫着されているので、前記スライドファスナーのスライダーをスライドさせて鞄の開口部を開けたときに、鞄の開口部の端面が外側から見えてしまう為に見栄えが悪く、意匠性に欠けるという問題がある。

また、縫製工程において、鞄などの開口縁部と左右テープとの位置決めが比較的困難であり、縫製時間がかかるという問題点があつた。

そこで、本発明は上述した問題点に鑑みてなさ

れたものであつて、その目的は、鞄などの開口縁部への縫着が容易に行え、鞄の開口部の開口時に意匠性を損なうことのない開口部の構造を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

20 上記目的を達成するため、本発明による開口部の構造は、左右テープ4, 4と、該左右テープ4, 4の対向内縁部に互いに頭部を咬合状態としてスライダー3により咬合開離自在とされた左右務歯列6, 6とを有するスライドファスナー2が25 取付けられる開口部の構造において、可撓性を有

し、かつ帯板状に形成された左右側板5, 5は、その断面形状が略S字形に折返し状に成形されて内方および外方の折返し溝部5a, 5bを形成し、該向合う内方の折返し溝部5a, 5aには前記左右テープ6, 6の外縁部が押出し成形により圧着され、外方の折返し溝部5b, 5bは鞄1などの開口縁部1a, 1aが挿入固定されることを特徴としている。

【作用】

したがつて、スライドファスナー2の左右テープ4, 4にS字形に形成された側板5, 5が押出し成形で圧着され、その側板5, 5の外方の折返し溝部5a, 5aに鞄1などの開口縁部1a, 1aが挿入固定される。

これにより、スライドファスナー2を鞄1に取付ける縫着工程において、鞄1の開口部への位置決めが容易に行なえる。また、取付けられた鞄1などの開口部の端面が覆い隠される。

【実施例】

第1図は本発明による開口部の構造の一実施例を示す開口時の部分拡大斜視図、第2図は同開口部の構造の拡大側断面図、第3図は同開口部の構造が適用される鞄の全体構成を示す一部切欠斜視図、第4図は他の実施例を示す開口部の構造の拡大側断面図である。

この実施例の開口部の構造は、鞄1などの開口縁部1aにスライドファスナー2が縫着されているものであり、鞄1の開口部は該スライドファスナー2のスライダー3をスライドすることにより開閉自在となつていて、該スライドファスナー2は、既製のファスナー本体2aの左右テープ4, 4の外縁部のみに、帯板状の側板5, 5が歯列6と平行に設けられた形状となつていて、この左右の側板5, 5は、ゴム等の可撓性を有する熱可塑性の合成樹脂材料で形成されている。また前記左右の側板5, 5は、その断面形状が略S字形状を成し、それぞれ上下に内方及び外方の折返し溝部5a, 5bを形成している。そして互いに向合う内方の折返し溝部5a, 5aは前記左右テープ4, 4の外縁部に押出し成形により圧着されてい

る。

このスライドファスナー2を第3図に示すような鞄1に取付けるには、前記左右の側板5, 5の外方の折返し溝部5b, 5bに鞄1の開口縁部1

a, 1aを第2図に示すように挿入し、この側板5, 5ごと縫着すればよい。

したがつて、第3図に示すような鞄1の開口縁部1a, 1aに前述したスライドファスナー2を縫着して形成された開口部の構造によれば、ファスナー本体2aに圧着された側板5, 5の外方の折返し溝部5b, 5bが鞄1の開口縁部1a, 1aを覆い隠すことになるので、鞄1の開口部を開けたときに鞄1の開口部の端面が見えなくなり見栄えがよくなる。

また、スライドファスナー2を鞄1に取付けるときに、側板5, 5の外方の折返し溝部5b, 5bを鞄1の開口縁部1a, 1aに差込むだけで位置決めが完了し、この状態で縫着することができる、縫製作業が容易に行える。このことから、開口部が屈曲した鞄1の開口縁部1cへの取付けも容易に行うことができる。

なお、本実施例では、鞄1の開口縁部1a, 1aの表面側にスライドファスナー2を取付けた開口部の構造の例について述べたが、例えば第4図に示すように側板5, 5を左右逆に取付けたスライドファスナー7を用いることにより、鞄1の開口縁部1a, 1aの内周側にスライドファスナーを取付けても上述した実施例の開口部の構造と同様な効果を得ることができる。

【発明の効果】

以上説明したように本発明による開口部の構造によれば、鞄の開口縁部に取付けられるスライドファスナーがファスナー本体の左右テープの外縁部に可撓性を有する略S字形の側板を圧着して形成されていることにより、該側板の外方の折返し溝部を鞄の開口縁部に挿入するだけで用意に位置決めができる。また、位置決めされた状態で用意に縫着することができるので縫製工程において縫製時間を短縮することができるという効果がある。

また、前記外方の溝部が鞄の開口部の端面を覆い隠すので、該鞄の開口部を開けたときに開口部の端面が見えず見栄えがよくなるという効果がある。

図面の簡単な説明

第1図は本発明による開口部の構造の一実施例を示す開口時の部分拡大斜視図、第2図は同開口部の構造の拡大側断面図、第3図は同開口部の構

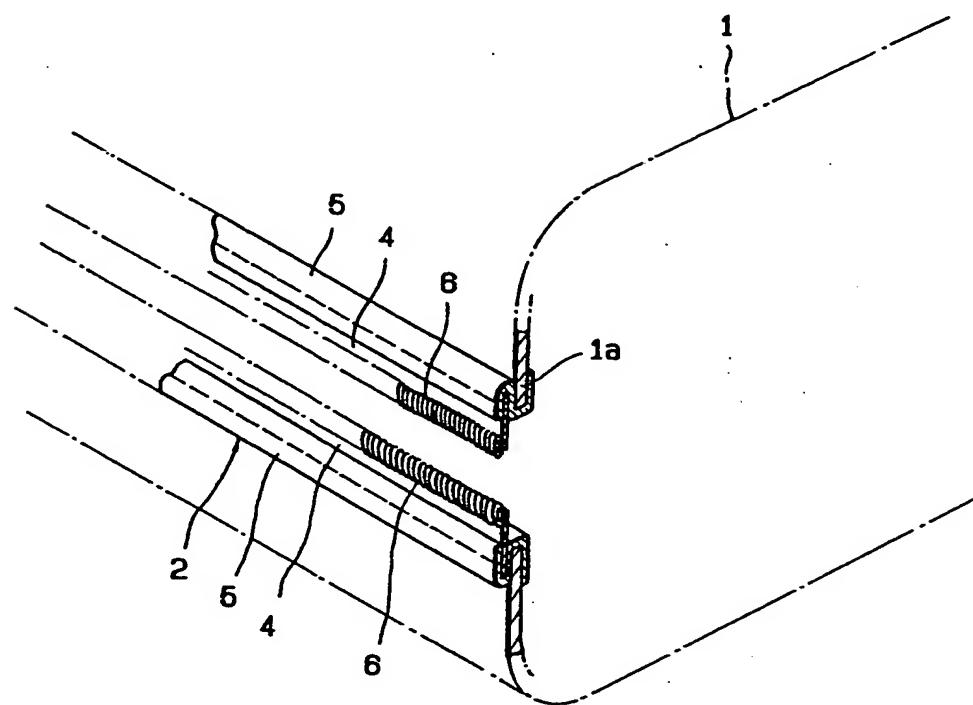
5

6

造が適用される鞄の全体構成を示す一部切欠斜視図、第4図は他の実施例を示す開口部の構造の拡大側断面図である。

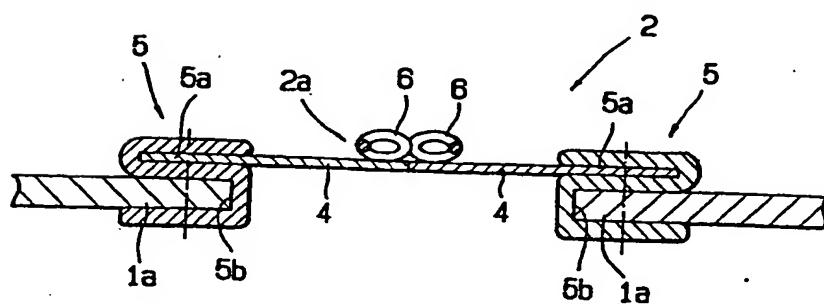
1……鞄、1a……開口縁部、2……スライド

第1図

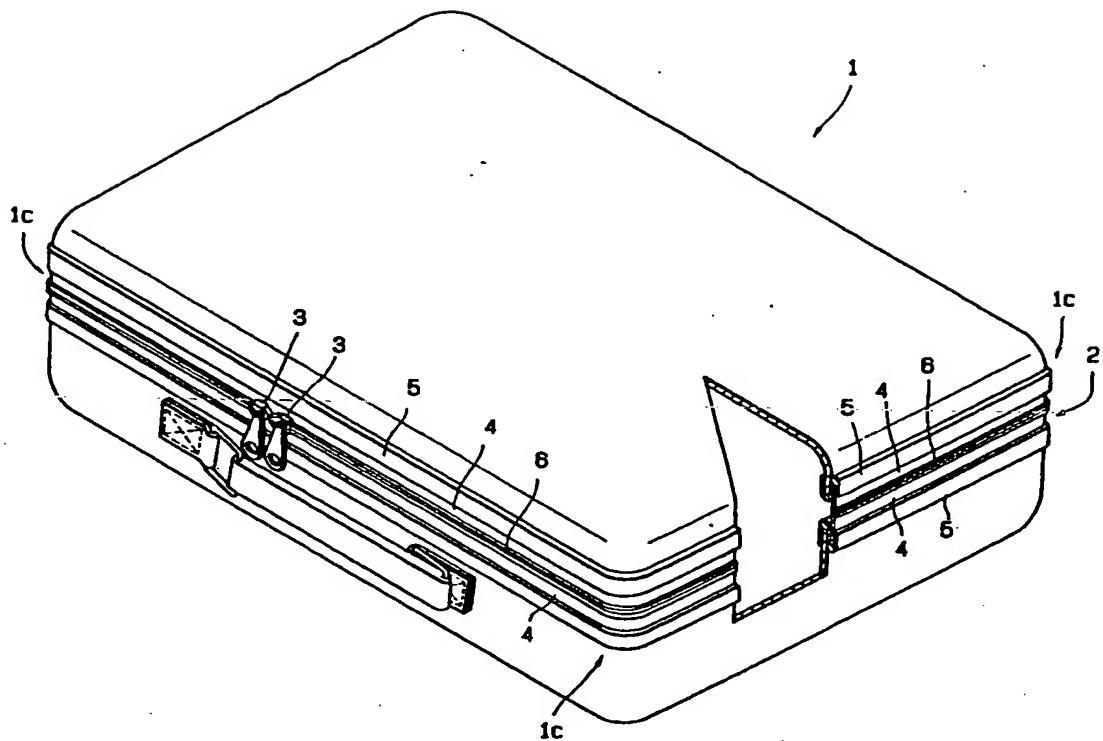


ファスナー、3……スライダー、4, 4……左右テープ、5……側板、5 a……内方の溝部、5 b……外方の溝部、6……務歯列。

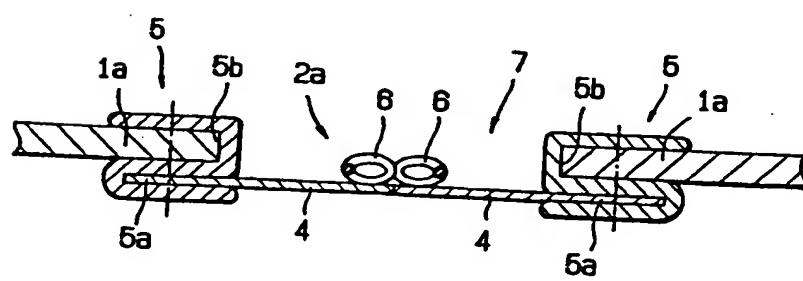
第2図



第3図



第4図



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-174606
 (43)Date of publication of application : 22.06.1992

(51)Int.CI. A45C 13/10

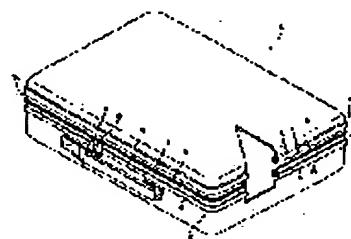
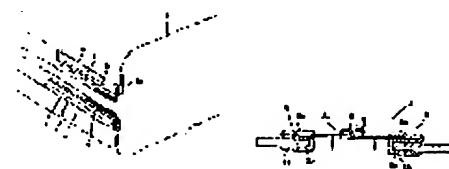
(21)Application number : 02-299948 (71)Applicant : MORITO KK
 COLOR FASTENER KOGYO KK
 (22)Date of filing : 07.11.1990 (72)Inventor : NANNO RYOHEI

(54) STRUCTURE OF OPENED PORT PART

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily carry out sewing-installation and prevent the designing performance from being deteriorated when the opened port part of a bag is opened, by press-attaching the outer edge parts of the left and right tapes onto the opposed inward folded-back groove parts through extrusion-molding and insertion-fixing the opened port edge part of the bag, at the outside foolded-back groove part.

CONSTITUTION: A slide fastener 2 is sewing-installed at the opened port edge part 1a of a bag 1, and the opened port part of the bag 1 can be opened and closed by sliding the slider 3 of the slide fastener 2. When the slide fastener 2 is installed on the bag 1, the opened port edge parts 1a and 1a of the bag 1 are inserted into the folded-back groove parts 5b and 5b outside the left and right side plates 5 and 5, and sewing-installation is carried out together with the side plates 5 and 5. Since the folded-back groove parts 5b and 5b outside the side plates 5 and 5 which are press-attached on the fastener body 2 covering-conceal the opened port edge parts 1a and 1a of the bag 1, the edge surface of the opened port part of the bag 1 is concealed, and appearance is improved, when the opened port part of the bag 1 is opened.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision]

of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office